

## 教科目名 保健・体育 (Health &amp; Physical Education)

学科名・学年 : 全学科 2 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 学習保証時間 42 時間)

担当教員 : 大庭恵一, 川内谷一志, 古沢里司 (全クラス担当)

授業の概要			
スポーツテスト(運動能力テスト・体力診断テスト)を実施して,個人の体力を把握させる. スポーツテストに含まれる運動技能を個人技能(陸上競技,水泳),对人的技能(ソフトテニス,バドミントン,柔道), 集団の技能(バレーボール,サッカー,バスケットボール)の各種目を,全体技能(ゲーム)が遂行可能となるように 行う.保健学習では,「現代社会と健康」「社会生活と健康」に重点をおいて学習する.			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1)(B1),JABEE 目標(a)(c)	
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする.(ゲームと記録) (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し,ゲームを楽しむことができるようにする.(ゲーム) (3) 保健学習で行った内容を正確に理解する.(定期試験)			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1-3	1. バレーボール	個人技能の習得.男女混合チームもあり,班編成に留意する.審判法の確認.	【理解の度合い】
4,5	2. スポーツテスト	{運動能力テスト(4種目),体力診断テスト(4種目)}を正確に測定する.	
6-9	3-1. ソフトボール(男子) 3-2. ソフトテニス(女子)	ゲームによる技能の向上と審判法の習得. ストローク,サーブなどの個人技能の習得.	
10,11	4. 水泳	遠泳に重点を置いたクロール,平泳ぎの習得.	
12,13	5. 保健	「喫煙,飲酒および薬物乱用と健康」を重点に学習する.	
14	前期期末試験	筆記による保健のテストを行う.	【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説	保健テストの解答と解説を行う.	
15,16	6. 陸上競技	ハードルの基本技能を習得し,80mハードルのタイムを測定する.女子はハードルを低くして指導する.	【理解の度合い】
17-20	7-1. サッカー(男子) 7-2. バドミントン(女子)	個人技能の習得後,ゲームによるルール・審判法の習得. 個人の技能の習得後,ダブルスのゲームを学習する.	
21,22	8. 柔道	個人技能の習得.約束練習や簡易試合を行い,ルール・審判法の習得.	
23-25	9. バスケットボール	個人技能の習得.ゲームによるルール・審判法の習得.	
26,27	10. 保健	「交通事故およびその予防策」「集団の健康」について学習する.	
28	後期期末試験	筆記による保健のテストを行う.	【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説	保健のテストの解答と解説を行う.	
履修上の注意	授業は時間厳守とする.		【総合達成度】
教科書	高石昌弘,小沢治夫ほか,「現代保健体育」,大修館書店.		
参考図書	秋山兼範,麻生紘二ほか,「最新スポーツルール」,大修館書店.		
関連科目	保健・体育(1年,3年)		
総合評価	達成目標の(1)から(3)について実技と試験で評価する. 総合評価 = $0.8 \times (\text{授業で行った各種目の実技点の平均}) + 0.2 \times (\text{保健テスト点})$ *総合評価は,前期評価と後期評価を平均して評価する. *授業態度により,評価点からその20%を上限として減点を行う. 総合評価 60 点以上を合格とする.		【総合評価】 点

